

～ゼロ予算で切り拓く 未知の世界～

新徳島発！スマート予算事業

令和元年度予算(骨格+肉付け)4,946億円に加え、徳島ならではの「第2の予算」として、施策の推進には予算が伴うという「固定観念」から脱却する「ゼロ予算の理念」のもとに、「未知の世界」を創意工夫により切り拓く事業

これまで

H19～ とくしま“トクトク”事業

H27～ とくしま“実になる”事業(6区分)

H22～ 実証実験・モデル事業(2区分)

H23～ 歳出の中から歳入を生み出す取組み(1区分)

統合・
リニューアル

令和元年度～

新徳島発！スマート予算事業【全280事業】

○平成30年度まで実施してきた「とくしま“実になる”事業」等を統合・リニューアルし、新たに3本柱で構成

○新たに2区分を創設するとともに、従来の9区分を6区分(新2区分含む)にまとめ、分かりやすく体系化して発信！

I 進化する！「ゼロ予算」事業

【主な事例】

新高校生自転車
セーフティラリー事業

～学校をあげての創意工夫で～



ゼロ予算事業 92事業

行政サービスの提供には必ず予算を伴うとの考え方から脱却し、「県職員の活動こそが最大の行政サービス」として、知恵を絞り、工夫を凝らして施策を効率的に推進する事業

県民協働・スポンサー事業 59事業

県民の皆様の積極的な参加や、スポンサーとしてのご支援により、県民の皆様と行政、県民の皆様同士が互いに協働し、施策をより効果的に推進する事業

II 展開する！「価値創造」事業

【主な事例】

新里山の「宝」を再発見！
にぎわい拠点整備事業
～旧果樹研究所を活用～



新リタイアインフラ価値創造事業 11事業

「既存ストック」や既に役割を終えた「リタイアインフラ」の新次元の活用により、新たな価値を創造し、県民の多様なニーズに対応する事業

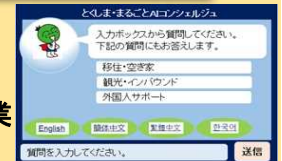
歳出の中から歳入を生み出す取組み 40事業

戦略的な先行投資や政策創造などにより、「経済波及効果」や「将来コスト軽減効果」を最大限引き出し、将来にわたる新たな財源の確保を図る事業

III 先導する！「未知挑戦」事業

【主な事例】

新とくしま丸ごと
AIコンシェルジュ(仮称)事業
～ご質問に24時間対応～



実証実験・モデル事業 61事業

政策による効果が明らかにされていない「未知の分野」において、「実証実験」や「モデル事業」に挑戦し、新たな事業構築や効果的な手法の普及を図るための事業

新新未来実装事業 17事業

「実証実験」「モデル事業」で得た成果を本格実装し、県民の皆様にも効果を実感していただくとともに、その効果・手法を全国に向けて発信していく事業

※統合・リニューアルにあたり、主に平成27年度以降に開始した事業を掲載しています。

I 進化する！「ゼロ予算」事業

施策の推進には予算を伴うという「固定観念」から脱却するとともに、県民参加のもと、施策を効果的に実施するため、「ゼロ予算事業」、「県民協働・スポンサー事業」からなる「進化する！『ゼロ予算』事業」をより強力に展開する。

1 ゼロ予算事業 92事業

行政サービスの提供には必ず予算を伴うとの考え方から脱却し、「県職員の活動こそが最大の行政サービス」として、知恵を絞り、工夫を凝らして施策を効率的に推進する事業。

【代表事例】

㊦「板東俘虜収容所」について知る県立学校出張事業

「板東俘虜収容所」の史実を伝え、その魅力を知ってもらい、郷土に誇りを持ってもらうため、県職員が県立学校を訪問して、「板東俘虜収容所」に関する出張授業を行う。

㊦観光「とくしまLOVE」創造事業

県民参加型の観光誘客を促進するため、徳島の観光情報を率先して各自のSNSやHP、ブログで発信する「サポーター」として、「とくしまLOVE企業」や「とくしまLOVE県民・県職員」の募集・認証を行い、イベント情報を定期的に提供する。

㊦高校生自転車セーフティラリー事業

自転車利用の交通ルール遵守とマナーアップに向けて、学校単位で自転車安全カード（警告書）の交付数ゼロを目標に、県主催「高校生自転車セーフティラリー」に参加し、交通安全教室や交通マナーアップクラブの活動等、学校を挙げての創意工夫を図る。

【鳴門渦潮高校における出張授業】



県職員の知恵と工夫で
施策を充実！

2 県民協働・スポンサー事業 59事業

県民の皆様の積極的な参加や、スポンサーとしてのご支援により、県民の皆様と行政、県民の皆様同士が互いに協働し、施策をより効果的に推進する事業。

【代表事例】

㊦縁から絆へ！絆応援し隊事業

多様な人々による農山漁村の応援体制を構築するため、「県人会」や「とくしまで住み隊」等との新たな協働により、本県に縁ある人々の「とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊」活動を促進する。

㊦エシカル消費で加速！脱炭素「ステップアップ」事業

県民総活躍で「脱炭素社会の実現」を加速させるため、ICTを活用した食品ロス削減モデルの検討・試験運用を県内企業と連携して行うとともに、消費者行政新未来創造オフィスと連携した啓発活動、「エコみらいとくしま」における「環境学習・教育」等を展開する。

㊦フレイル予防推進事業のうちフレイルサポーター養成事業

アクティブシニアが主役となり、地域で支え合う「集いの場」を県民協働で創出し、県民総ぐるみでフレイル予防推進を図るため、アクティブシニアの自発的な参加による「フレイルサポーター」の養成を実施する。

【東みよし町西庄における「応援し隊」活動】



県民の皆様の参加とご支援で
行政サービスを向上！

Ⅱ 展開する！「価値創造」事業

徳島は宣言する
VS東京

新次元の活用により、新たな価値を創造する「リタイアインフラ価値創造事業」及び「歳出の中から歳入を生み出す取組み」の展開を通じ、持続可能な社会の実現を図る。

3 ㊦リタイアインフラ価値創造事業 11事業

「既存ストック」や既に役割を終えた「リタイアインフラ」の新次元の活用により、新たな価値を創造し、県民の多様なニーズに対応する事業。

【代表事例】

㊦里山の「宝」を再発見！にぎわい拠点整備事業

カンキツ産地の強化はもとより、中山間地域における農業振興を核とした地域活性化を図るため、「旧果樹研究所」を活用し、経営感覚に優れたカンキツ人材の育成やにぎわいづくりの拠点整備を行う。

㊦万代中央ふ頭既存ストック活用支援事業

万代中央ふ頭において、更なる地域活性化を図るため、民間資本を活用して旧タクシーメーター検査場をにぎわい施設へと転換するとともに、事業者が行う施設改修工事に対する経費補助を行う。

㊦新たな出会いSPOT創出事業

リタイアインフラに新たな価値を創出し、有効活用を図るため、国道193号・出合橋について、地域の観光計画に位置付けるとともに、実橋実験やイベント等を戦略的に実施する。

【万代中央ふ頭 既存ストック活用支援事業】



「リタイアインフラ」等の有効活用により、多様なニーズに対応！

4 歳出の中から歳入を生み出す取組み 40事業

戦略的な先行投資や政策創造などにより、「経済波及効果」や「将来コスト軽減効果」を最大限引き出し、将来にわたる新たな財源の確保を図る事業。

【代表事例】

地方大学・地域産業創生事業

全国を上回る速度での急速な少子高齢化の進行や、進学・就職による若者の都市部への流出を抑制するため、国の「地方大学・地域産業創生交付金」を活用し、本県の強みである「光応用専門人材の育成」及び「光関連産業の振興」を推進する。

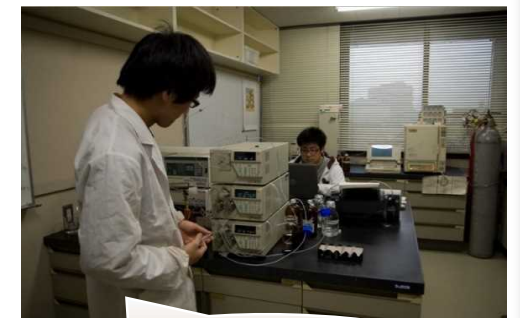
㊦健康長寿・人生100年時代への挑戦「打糖!!糖尿病」応援推進事業

県民を挙げての糖尿病対策として、アプリを活用した「健康ポイント事業」や「介護保険施設等“健康にぎわいの場”での運動教室」等を実施し、健康長寿の実現を図る。

㊦宿泊施設リノベーション支援事業

宿泊者数の増加を図り、地域経済活性化につなげるため、「多くの観光客から選ばれ、再び宿泊したいと思われる施設」に向けて、宿泊事業者が行う施設のリノベーションに対して新たな支援を行う。

【地方大学・地域産業創生事業】



戦略的な先行投資等により、将来にわたる新たな財源を確保！

Ⅲ 先導する！「未知挑戦」事業

徳島は宣言する
VS東京

まずはチャレンジと、一步先の未来を具現化する「実証実験・モデル事業」、及びその成果をスピード感をもって実装する「新未来実装事業」により、地方創生の旗手・徳島が「未知の世界」への挑戦を先導する。

5 実証実験・モデル事業 61事業

政策による効果が明らかにされていない「未知の分野」において、「実証実験」や「モデル事業」に挑戦し、新たな事業構築や効果的な手法の普及を図るための事業

【代表事例】

⑧農工商連携新分野進出支援事業

藍生産現場等における農業者の課題を解決するため、本県ものづくり企業が農業者と連携し、ロボット・機械器具等を開発・検証することにより、農作業の省力化・生産性向上及び藍製品開発の加速、本県ものづくり産業の活性化を図る。

⑨「猪・鹿・猿ピンポイント捕獲大作戦！」事業

イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルの効果的な捕獲を進め、この3獣種による農林業被害、生態系被害、人身被害などの軽減を図るため、ピンポイントで集中的に捕獲する事業や、IoTを活用した新たな技術の検証などを実施する。

⑩医療・介護人材確保のための病院内保育所活用モデル事業

医療・介護人材を確保するため、病院内保育所において、近隣の診療所や介護施設等に勤務する職員の児童を、新たに受け入れる体制モデルの構築を図る。



【藍生産の現状】

新たな事業構築や効果的な手法を獲得！

6 ⑪新未来実装事業 17事業

「実証実験」「モデル事業」で得た成果を本格実装し、県民の皆様にも効果を実感していただくとともに、その効果・手法を全国に先駆けて発信していく事業

【代表事例】

⑪シームレスなスマート会計実装事業

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を活用した会計事務自動化実証の成果を全庁へ波及させるため、RPAの本格実装を行い、各課における支払事務の迅速化等を図る。

⑫とくしま丸ごとAIコンシェルジュ（仮称）事業

県民をはじめ、移住希望者や外国人などからの県に関する問合せに適確に対応するため、平成29年度に実証実験を行った「阿波おどりAIコンシェルジュ」の成果を踏まえ、AIを活用して多言語で自動回答する総合窓口を県ホームページ上に構築する。

⑬水素エネルギー「社会実装」推進事業

水素エネルギーの「社会実装」を推進するため、水素ステーションの整備による「供給体制の構築」や、燃料電池バスをはじめ新たな水素モビリティ導入を促進する「需要の拡大」、県内における水素関連産業の裾野を広げる「水素ビジネス開拓支援」などの取組みを展開する。

成果を本格実装！
全国に先駆け発信！



【燃料電池バス】